



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 株式会社テラプローブ
コード番号 6627
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO
四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <http://www.teraprobe.com/>
(氏名) 渡辺 雄一郎
(氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,028	△1.3	33	—	28	—	△106	—
26年3月期第1四半期	5,092	△16.8	△207	—	△257	—	△202	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 14百万円(—%) 26年3月期第1四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△11.44	—
26年3月期第1四半期	△21.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	33,566	22,834	60.6	2,192.09
26年3月期	33,514	22,671	60.5	2,185.93

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 20,347百万円 26年3月期 20,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.0	—	0.0	0.0
27年3月期	—	—	—	—	—

3. 平成27年3月期第2四半期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。

また、通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想についても開示いたしておりません。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,400	△3.6	350	400.0	330	573.5	50	47.1	5.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	9,282,500株	26年3月期	9,282,500株
27年3月期1Q	83株	26年3月期	83株
27年3月期1Q	9,282,417株	26年3月期1Q	9,282,459株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(5) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、消費税率引き上げの影響により一時的な消費の落ち込みはあったものの、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの属する半導体市場は、車載向け製品が堅調に推移し、スマートフォンやタブレット向け製品はハイエンドからローエンドに需要の中心を移しながら成長を続けております。

このような状況の下、当社グループは、前四半期に比べ国内の主要顧客からのテスト受託が減少したものの、台湾におけるテスト受託が増加したことなどから、当第1四半期における当社グループの売上高は5,028百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は33百万円(前年同期は207百万円の損失)、経常利益は28百万円(前年同期は257百万円の損失)、四半期純損益は106百万円の損失(前年同期は202百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

当第1四半期のメモリ事業は、台湾においては堅調に推移したものの、国内では主要顧客において一時的に生産数量が減少したため、前四半期に比べ受託数量が減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期のメモリ事業の売上高は3,517百万円(前年同期比4.7%減)となりましたが、前年同期と比べ減価償却費の減少や修繕費を抑制したことなどもあり、セグメント利益は604百万円(同183.7%増)となりました。

② システムLSI事業

当第1四半期のシステムLSI事業のテスト受託につきましては、前四半期に比べ台湾を中心に緩やかに増加しましたが、WLP・BUMP受託につきましては、新規受託や一部量産の前倒しがあったものの、全体として低調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期のシステムLSI事業の売上高は1,482百万円(前年同期比3.3%増)となりましたが、製品ミックスの変化などもあり、セグメント損益は283百万円の損失(前年同期は104百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は33,566百万円となり、前連結会計年度末比52百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,813百万円、受取手形及び売掛金が191百万円それぞれ増加したものの、譲渡性預金等の有価証券が899百万円、破産更生債権等の売却により投資その他の資産が398百万円、地方自治体からの助成金の受領等によりその他流動資産が612百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は10,732百万円となり、前連結会計年度末比110百万円の減少となりました。これは主に設備投資に係る借入金が889百万円増加したものの、返済によりリース債務が298百万円、退職給付債務の計算方法の変更等により退職給付に係る負債が132百万円、賞与の支給等により引当金が160百万円、設備購入代金の支払等によりその他流動負債が358百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は22,834百万円となり、前連結会計年度末比162百万円の増加となりました。当期は四半期純損失の計上となりましたが、退職給付債務の計算方法の変更に伴う調整により利益剰余金が41百万円、少数株主持分が105百万円、為替換算調整勘定が12百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7,146百万円となり、前連結会計年度末比736百万円の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,128百万円の純収入（前年同期比6.7%の収入増）となりました。これは主に、減価償却費の計上1,514百万円や、破産更生債権等の減少636百万円、補助金の受取409百万円により資金の増加があったものの、売上債権の増加186百万円、貸倒引当金の減少229百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,452百万円の純支出（前年同期比314.6%の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,800百万円、定期預金の預入による支出1,800百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、584百万円の純収入（前年同期は711百万円の純支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,816百万円、短期借入れによる収入203百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入373百万円があったものの、短期借入金の返済による支出1,137百万円、リース債務の返済による支出672百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間における半導体市場につきましては、人気スマートフォンの新機種発売が期待されるなか、半導体市場も成長が継続するものと予想しております。

このような状況のもと、メモリ事業は一時的に生産数量が減少していた顧客からの受託数量も回復するものと予想しております。また、システムLSI事業につきましても、テスト受託、WLP・BUMP受託とも緩やかな改善を予想しております。

これらの結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が10,400百万円、営業利益が350百万円、経常利益が330百万円、当期純利益は50百万円と予想しております。

なお、上記業績予想には、青梅事業所における構造改革費用の一部80百万円を特別損失として織り込んでおりますが、構造改革の進捗状況によっては、追加の費用等が発生することがあります。今後、状況が明確になりましたら別途お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が147,902千円減少し、利益剰余金が147,902千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,348千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,782,585	4,596,289
受取手形及び売掛金	3,708,986	3,900,952
有価証券	5,799,587	4,899,709
製品	11,883	17,699
仕掛品	250,789	253,056
原材料及び貯蔵品	125,854	123,322
その他	1,140,810	528,705
流動資産合計	13,820,497	14,319,736
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	12,899,946	12,007,781
その他（純額）	5,317,528	6,181,298
有形固定資産合計	18,217,475	18,189,080
無形固定資産	479,413	458,836
投資その他の資産		
その他	1,227,019	599,007
貸倒引当金	△230,007	△103
投資その他の資産合計	997,012	598,904
固定資産合計	19,693,901	19,246,821
資産合計	33,514,398	33,566,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852,909	838,416
短期借入金	1,895,503	967,660
リース債務	2,534,961	2,638,888
未払法人税等	105,361	118,513
引当金	587,863	427,360
その他	1,709,531	1,351,214
流動負債合計	7,686,128	6,342,054
固定負債		
長期借入金	-	1,817,505
リース債務	2,196,232	1,793,629
退職給付に係る負債	338,580	205,684
その他	621,806	573,398
固定負債合計	3,156,619	4,390,217
負債合計	10,842,748	10,732,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△2,996,890	△2,955,142
自己株式	△62	△62
株主資本合計	20,206,627	20,248,375
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	122,852	135,021
退職給付に係る調整累計額	△38,769	△35,520
その他の包括利益累計額合計	84,083	99,501
少数株主持分	2,380,939	2,486,408
純資産合計	22,671,650	22,834,285
負債純資産合計	33,514,398	33,566,557

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	5,092,640	5,028,873
売上原価	4,783,010	4,463,033
売上総利益	309,630	565,840
販売費及び一般管理費	517,407	532,685
営業利益又は営業損失(△)	△207,776	33,154
営業外収益		
受取利息	1,813	1,956
為替差益	4,172	4,993
設備賃貸料	9,024	14,388
貸倒引当金戻入額	-	19,787
その他	4,213	4,935
営業外収益合計	19,224	46,060
営業外費用		
支払利息	35,243	27,741
その他	33,759	23,239
営業外費用合計	69,003	50,980
経常利益又は経常損失(△)	△257,555	28,234
特別利益		
固定資産売却益	388	2,368
特別利益合計	388	2,368
特別損失		
固定資産売却損	960	-
固定資産除却損	-	367
特別損失合計	960	367
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△258,127	30,236
法人税等	△38,784	42,614
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△219,343	△12,378
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,339	93,776
四半期純損失(△)	△202,004	△106,154
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,339	93,776
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△219,343	△12,378
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	212,281	23,862
退職給付に係る調整額	-	3,248
その他の包括利益合計	212,281	27,111
四半期包括利益	△7,062	14,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,741	△90,736
少数株主に係る四半期包括利益	86,678	105,468

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△258,127	30,236
減価償却費	2,137,949	1,514,264
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△229,903
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	15,006
引当金の増減額(△は減少)	△164,279	△160,971
受取利息	△1,813	△1,956
支払利息	35,243	27,741
設備賃貸料	△9,024	△14,388
固定資産除売却損益(△は益)	572	△2,001
売上債権の増減額(△は増加)	△14,303	△186,848
破産更生債権等の増減額(△は増加)	-	636,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,132	△5,329
仕入債務の増減額(△は減少)	1,005,422	△14,593
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△759,839	△42,367
その他の流動負債の増減額(△は減少)	83,914	254,574
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△697	△59,106
その他	△19,649	21,200
小計	2,037,474	1,782,266
利息の受取額	1,807	1,954
利息の支払額	△35,243	△27,741
補助金の受取額	-	409,711
法人税等の支払額	△9,348	△38,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,994,690	2,128,146
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,000	△1,800,000
定期預金の払戻による収入	150,000	150,000
有形固定資産の取得による支出	△848,081	△1,800,865
有形固定資産の売却による収入	5,129	14,872
無形固定資産の取得による支出	△1,129	△28,318
設備賃貸料の受取額	11,638	11,359
その他	△110	819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832,553	△3,452,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	203,766
短期借入金の返済による支出	-	△1,137,609
長期借入れによる収入	-	1,816,829
リース債務の返済による支出	△711,010	△672,625
セール・アンド・リースバック取引による収入	-	373,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,010	584,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,381	3,380
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	505,507	△736,296
現金及び現金同等物の期首残高	6,043,022	7,882,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,548,530	7,146,040

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,689,587	1,350,614	5,040,201	52,439	5,092,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	83,901	83,901	△83,901	-
計	3,689,587	1,434,515	5,124,102	△31,462	5,092,640
セグメント利益又は損失(△)	213,077	△104,345	108,731	△316,508	△207,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,508千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,687千円、連結消去15,043千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△2,864千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,517,731	1,482,134	4,999,866	29,007	5,028,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,517,731	1,482,134	4,999,866	29,007	5,028,873
セグメント利益又は損失(△)	604,443	△283,975	320,468	△287,313	33,154

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△287,313千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,853千円、連結消去24,821千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額6,718千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリ情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「メモリ事業」のセグメント利益が1,230千円増加し、「システムLSI事業」のセグメント利益が2,417千円増加し、「調整額」のセグメント利益が700千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。